

## 2 重点課題別の目標設定

次に、4つの重点課題毎に「取組の方向性」、「具体的な取組」、「現状」、「目標」を設定しました。

「取組の方向性」では、取組に当たっての基本的な方向性や枠組みを提示しました。これを受けて「具体的な取組」では各課題の解決に向けて、実施可能な取組を提示しました。

「現状」では、現時点で把握できている数値及び状況を提示しました。

「目標」の設定については、2010年を目指して、具体的な数値や「増加」「減少」といった取組の方向性を提示しました。これらについては、目安としての設定ですので、それぞれの取組の中で実状に応じた数値設定をしたり、今後の実践の成果により、数値設定をしていくものと考えています。数値の達成がすべてではなく、その達成に向けた活動の成果を測る一つの評価尺度として考えています。

これらの設定については、国の「健やか親子21」や「新エンゼルプラン」県の「三重のくにづくり宣言第二次実施計画」、「みえ子ども未来プラン」、三重の健康づくり総合計画「ヘルシーピープルみえ・21」、「三重県障害者プラン（第三次長期行動計画）」、「三重県教育振興ビジョン第二次推進計画」と連携をとりながら進めていきます。

## 基本理念

親と子が健やかに暮らせる地域社会づくり

## 県民運動としての取組の方向

### 重点課題

1 妊娠出産の安全性と快適さの確保や不妊への支援等

2 子どものごころとからだの健やかな発達

3 安心できる小児保健医療体制の整備

4 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進

ヘルシーピープル  
みえ・21との協働

1 妊娠出産に関する適切な知識や情報を得られる

2 妊娠出産、産後におけるごころの変化に応じて希望するケアが必要な時に受けられる

3 生涯を通じて女性の健康の保持増進とQOLの向上ができる

4 安全性と快適さを意識した妊娠、出産体制が整備され、安心して出産ができる

5 産婦人科医等の確保により、地域格差のない医療が受けられる

1 子どもの発達に応じた育児や健康に関する知識、情報を得られる

2 安定した親子関係を保てるよう、育児支援が必要な時に気軽に受けられる

3 子どもの成長や発達の問題を早期に見出し対応できる

4 虐待等の予防、早期発見、早期対応、フォローアップのために関係機関の連携した取組がある

5 子どもの健やかな育ちを保障する地域づくりに取り組む

6 子育てをしながら安心して働くことができる地域づくりに取り組む

1 予防接種や虫歯予防、不慮の事故等子どもの健康の予防対策の知識と技術が得られる

2 障害児や長期療養児等が地域で生活でき、QOLの向上ができる

3 小児医療、救急医療体制が整備され、安心して医療が受けられる

4 小児科医等の確保により、地域格差のない小児保健医療が受けられる

1 思春期の心身の発達に伴う変化、性や健康に関する正しい知識や情報を得られる

2 思春期の心身の問題を正しく理解し、適切な対応ができる

3 家庭・学校・地域等が連携して、思春期問題に対応できる

# 重点課題① 妊娠出産の安全性と快適さの確保や不妊への支援等

【目標】安全で安心して妊娠出産できる環境をつくとともに、妊産婦のメンタルヘルスや不妊相談等の支援をします。

## 取組の方向性

- ①妊娠出産に関する適切な知識や情報を得られる。
- ②妊娠出産、産後におけるこころの変化に応じて希望するケアが必要な時に受けられる。
- ③生涯を通じた女性の健康の保持増進とQOLの向上ができる。
- ④安全性と快適さを意識した妊娠、出産体制が整備され、安心して出産ができる。
- ⑤産婦人科医等の確保により、地域格差のない医療が受けられる。

### ①妊娠出産に関する適切な知識や情報を得られる。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
	1 母子健康手帳交付時に保健指導を行っている市町村の割合	59.4% [41市町村]	100%	H13年調査
	2 妊婦相談を行っている市町村の割合	53.6% [37市町村]	100%	H12年度母子保健報告
○☆	3 不妊専門相談センターの整備	未整備	整備	
○	4 不妊治療を受ける際に、患者が専門家によるカウンセリングが受けられる割合	60.4%	増加	H14年産科・泌尿器科アンケート調査
○	5 妊娠11週以下での妊娠の届出率	69.6%	85%	H12年度母子保健報告
○	6 母子健康手帳交付時に母性健康管理指導事項連絡カードについて説明している市町村の割合	46.4% [32市町村]	75%	H13年調査

### ②妊娠出産、産後におけるこころの変化に応じて希望するケアが必要な時に受けられる。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
	1 妊婦訪問を行っている市町村の割合	42% [29市町村]	70%	H12年度母子保健報告
	2 産婦訪問を行っている市町村の割合	52% [36市町村]	80%	H12年度母子保健報告
	3 新生児訪問を行っている市町村の割合	58% [40市町村]	80%	H12年度母子保健報告
	4 プレネイタル・ピジット（出産前小児保健指導）を行っている数	2か所	増加	H14年度

### ③生涯を通じた女性の健康の保持増進とQOLの向上ができる。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
	1 女性の更年期相談等を行っている窓口の割合（市町村・保健所等）	2.9% [2市町村]	30%	H13年調査
	2 公共の場所における分煙または禁煙実施割合（県・市町村・市町村民窓口・保健センター）	70%	100%	H12年度厚生労働省調査

### ④安全性と快適さを意識した妊娠・出産体制が整備され、安心して出産ができる。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
○☆	1 周産期医療ネットワークの整備	整備中	整備	
○	2 妊産婦死亡数	2人	0人	H12年人口動態調査

### ⑤産婦人科医等の確保により、地域格差のない医療が受けられる。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
○	1 妊産婦人口に対する従事している産婦人科医の割合	妊産婦118.3人に1人 [154人]	増加	H12年従事者届
○	2 妊産婦人口に対する従事している助産師の割合	妊産婦74.7人に1人 [244人]	増加	H12年従事者届

○…国の健やか親子21 ☆…新エンゼルプラン

## 重点課題② 子どものこころとからだの健やかな発達

【目標】子どもの心身の健やかな成長や発達の支援をするとともに、児童虐待のない三重県をめざします。

### 取組の方向性

- ①子どもの発達に応じた育児や健康に関する知識・情報を得られる。
- ②安定した親子関係を保てるよう、育児支援が必要な時に気軽に受けられる。
- ③子どもの成長や発達の問題を早期に発見し対応できる。
- ④虐待等の予防、早期発見、早期対応、フォローのために関係機関の連携した取組がある。
- ⑤子どもの健やかな育ちを保障する地域づくりに取り組む。
- ⑥子育てをしながら安心して働くことができる地域づくりに取り組む。

#### ①子どもの発達に応じた育児や健康に関する知識・情報を得られる。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
○	1 1か月児健診時の母乳育児の割合 (人工栄養との混合も含む)	85.5%	増加	H14年度産婦人科アンケート調査
○	2 食育を実施する園及び学校の割合	0.2%	50% 以上	ヘルシーピープルみえ・21
○	3 中学・高校生の朝食欠食率の割合	4.5%	0%	ヘルシーピープルみえ・21
	4 市町村における子育て講座の割合	23.2% [16市町村]	50%	H13年度子育て学習の全国展開事業 (教育委員会)

#### ②安定した親子関係を保てるよう、育児支援が必要な時に気軽に受けられる。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
○	1 日常の育児について相談相手のいる保護者の割合	98.1%	増加	H14年1歳6か月健康診査時アンケート調査
○	2 育児支援を目的として健診スタッフに心理相談員または保育士等が配置されている市町村の割合	34.8% [24市町村]	60%	H13年育児支援強化事業
○	3 親子のこころの問題に対応できる技術をもった小児科医の割合 (子どもの心相談医登録者割合)	13.5% [26人]	50%	H13年登録者数
○	4 周産期医療施設から退院したハイリスク児へのフォロー割合	95.0%	100%	H13年

#### ③子どもの成長や発達の問題を早期に発見し対応できる。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
○	1 児童、生徒肥満児の減少	7.9%	7% 以下	ヘルシーピープルみえ・21
	2 乳幼児健診の未受診者のフォローを実施している市町村の割合	1歳半91.3% [63市町村] 3歳89.9% [62市町村]	100%	H13年
	3 盲・聾・養護学校の教育相談件数	1校あたり59件	増加	H14年度教育委員会 (H16年度目標 1校あたり70件)

#### ④虐待等の予防、早期発見、早期対応、フォローのために関係機関等の連携した取組がある。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
○	1 虐待による死亡数 (児童相談所関与)	0	0	H12年度厚生労働省調査
○	2 常勤の児童精神科医がいる児童相談所の割合	20% [1か所]	増加	H13年度
○	3 育児不安・虐待親のグループ活動の支援を実施している保健所の割合	33.3% [3か所]	100%	H13年度
○	4 児童相談所における児童虐待相談件数	364人	増加後 減少	H13年度福祉行政報告
●	5 市町村における児童虐待防止のためのネットワーク設置割合	11.6% [8か所]	100%	H13年調査
○	6 情緒障害児短期治療施設の整備	なし	整備	
	7 児童養護施設における心理療法職員の配置の割合	30% [3か所]	80% [8か所]	H14年度
	8 専門里親登録数	0	10人	H14年度

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
	9 児童自立支援施設における児童自立率	87.5%	増加	H13年度

⑤子どもの健やかな育ちを保障する地域づくりに取り組む。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
	1 地域協力員数	1,180人	2,000人	H13年度家庭支援体制緊急整備促進事業
☆	2 地域子育て支援センター設置市町村数	40市町村	全市町村	H14年度地域子育て支援センター事業
▲	3 地域の体験活動に参加した子どもの数	5,300人	増加	H13年度教育委員会 (H16年度目標 10,400人)
●	4 学校等で地域ふれあい交流を実施した参加者数	450人	増加	H13年度教育委員会 (H16年度目標 1,650人)

⑥子育てをしながら安心して働くことができる地域づくりに取り組む。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
☆	1 病気回復期の子どもを預けることのできる施設をもつ市町村割合	5.8% [4か所]	増加	H13年度乳幼児健康支援一時預り事業
☆	2 延長保育（開所時間が11時間を超える）を実施している保育所数	17.7% [79か所]	増加	H13年度延長保育促進事業
☆	3 一時保育を実施している保育所数	2.2% [10か所]	増加	H13年度一時保育促進基盤整備事業
●☆	4 放課後児童クラブ数	110	150	H13年度
	5 育児休業制度規定率	55.6%	増加	H14年中小企業賞金等実態調査
	6 育児休業利用率	男 0% 女 70.7%	増加	H14年中小企業賞金等実態調査
	7 育児時間等制度規定率	40.1%	増加	H14年中小企業賞金等実態調査

○…国の健やか親子21 ●…ヘルシーピープルみえ・21 ☆…新エンゼルプラン  
●…三重のくにづくり宣言 ▲…三重県教育振興ビジョン第二次推進計画

## 重点課題③ 安心できる小児保健医療体制の整備

[目標] 子どもが病気になっても不安のない保健医療システムをつくり、子どもの健康管理と医療を充実します。

取組の  
方向性

- ①予防接種や虫歯予防、不慮の事故等子どもの健康の予防対策の知識と技術が得られる。
- ②障害児や長期療養児等が地域で生活でき、QOLの向上ができる。
- ③小児医療・救急医療体制が整備され、安心して医療が受けられる。
- ④小児科医等の確保により、地域格差のない小児保健医療が受けられる。

①予防接種や虫歯予防、不慮の事故等子どもの健康の予防対策の知識と技術が得られる。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
○	1 妊娠中の喫煙率	4.8%	減少	妊娠前期・後期受診券 (H13年度母子保健報告)
○	2 妊娠中の飲酒率	11.2%	減少	妊娠前期・後期受診券 (H13年度母子保健報告)
○	3 育児期間中の自宅での両親の喫煙率	62.8%	減少	H14年1歳6か月健康診査時アンケート調査
○	4 乳児期にうつ伏せ寝をさせている親の割合	19.8%	減少	H14年1歳6か月健康診査時アンケート調査
○	5 心肺蘇生法を知っている親の割合	25.0%	増加	H14年1歳6か月健康診査時アンケート調査

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
○	6 事故防止対策を実施している家庭の割合	72.2%	増加	H14年1歳6か月健康診査時アンケート調査
○	7 事故防止対策事業を実施している市町村の割合	47.8% [33市町村]	100%	H13年調査
	8 1歳6か月児健診における不慮の事故率 (火傷・誤嚥・溺水・交通事故)	20.3%	減少	H14年1歳6か月健康診査時アンケート調査
	9 チャイルドシート着用率	64.6%	100%	H14年1歳6か月健康診査時アンケート調査
●●	10 う歯のない3歳児の増加	46.9%	78%以上	ヘルシービーブルみえ・21
○	11 学齢期の1人平均う歯数の減少	3.44本	1本以下	ヘルシービーブルみえ・21
○	12 フッ化物歯面塗布を受けたことがある幼児の増加	33.3%	67%以上	ヘルシービーブルみえ・21
○	13 定期的な歯科健診の受診者の増加	33.8%	68%以上	ヘルシービーブルみえ・21
○	14 歯磨きを1日2回以上する人の増加	54.9%	95%以上	ヘルシービーブルみえ・21
○	15 かかりつけの歯科医がある人の増加	69.0%	95%以上	ヘルシービーブルみえ・21
○	16 1歳6か月児健診までにBCG接種を終了している人の割合	93.7%	95%	H12年度母子保健報告
○	17 1歳6か月児健診までに三種混合・麻疹の予防接種を終了している人の割合	三混 87.6% 麻疹 79.6%	95%	H12年度母子保健報告
	18 県内原発の麻疹の罹患状況	調査中	0%	三重県小児科医会

## ②障害児や長期療養児等が地域で生活でき、QOLの向上ができる。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
△	1 障害者デイサービス事業数	8か所	16か所	H13年度障害福祉チーム
△	2 重症心身障害児(者)通園施設数	2か所	9か所	H13年度障害福祉チーム
	3 障害児保育を実施する保育所の割合	49.2% [220か所]	60%	H13年度
	4 看護師を配置している養護学校の割合	28.6% [4校]	100% [14校]	H14年度教育委員会
●	5 障害児教育を受けている生徒の進学及び就労の割合	25.2%	増加	H14年度教育委員会

## ③小児医療・救急医療体制が整備され、安心して医療が受けられる。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
○	1 不慮の事故死亡率	0歳11.5[2人] 1~4歳42[3人] 5~9歳6.5[6人] 10歳~14歳1[1人] 15歳~19歳18.7[20人]	減少	H12年人口動態調査(人口10万対)
○●	2 乳児死亡率	3.2 [57人]	2.1	H12年人口動態調査(出生千対)
○	3 乳児SIDS死亡率	16.9 [3人]	減少	H12年人口動態調査(人口10万対)
○	4 幼児(1歳から4歳)死亡率	46.6 [34人]	減少	H12年人口動態調査(人口10万対)
○	5 かかりつけの小児科医を持つ親の割合	27.0%	50%	H12年小児夜間救急医療に関する調査
○	6 初期、二次、三次の小児救急医療体制の整備	整備中	整備	

## ④小児科医等の確保により、地域格差のない小児保健医療が受けられる。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
○	1 小児人口に対する小児科医師の割合	550.0人に1人 [515人]	増加	H12年従事者届

○…国の健やか親子21 ○…ヘルシービーブルみえ・21 ☆…新エンゼルプラン

●…三重のくにづくり宣言 △…三重県障害者プラン(第三次長期行動計画)

## 重点課題④ 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進

**[目標]** 心身ともに発達や変化の大きい思春期において、学校、家庭、地域などが協力して保健対策を強化し、健康教育を充実することによって、子どもが主体性を持って自立できるように応援します。



- ①思春期の心身の発達に伴う変化、性や健康に関する正しい知識や情報を得られる。
- ②思春期のこころの問題を正しく理解し、適切な対応ができる。
- ③家庭・学校・地域が連携して、思春期問題に対応できる。

### ①思春期の心身の発達に伴う変化、性や健康に関する正しい知識や情報を得られる。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
○	1 十代(15歳から19歳)の人工妊娠中絶実施率	13.5 [711人]	減少	H12年人口動態調査(人口千対)
○	2 性感染症罹患者に占める十代の割合	性器クラミジア20.6%[64人] 淋菌感染症9.2%[15人] 尖形コンジローーム14.6%[6人]	減少	H13年感染症発生動向調査15定点医療機関報告
	3 薬物乱用に対する正しい知識を持っている高校生等の割合	調査中	増加	H14年業務食品チーム
○○	4 十代の喫煙率	男 12.8% 女 7.0%	なくす	H11年度県民意識調査(15歳から19歳)
○○	5 十代の飲酒率	22.3%	なくす	H11年度県民意識調査(15歳から19歳)
	6 中学3年生(14歳)女生徒で体重が標準の-20%以下の割合	2.04%	減少	H13年健康状態調査(教育委員会)
	7 性に関する指導実施小中高校の割合	小学校 91% 中学校 94% 高 校 94%	100%	H13年度教育委員会調べ

### ②思春期のこころの問題を正しく理解し、適切な対応ができる。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
○	1 十代の自殺率	5歳~14歳 0 15歳~19歳 7.5 [8人]	減少	H12年人口動態調査(人口10万対)
○○	2 スクールカウンセラー等を配置している公立中学校の割合	78.4%	100%	H13年教育委員会
	3 思春期教室・相談事業を実施している市町村・保健所の割合	6保健福祉部 11市町村	増加	H13年
	4 リスナー指導者数	育成中	50人	H14年度こころの健康センター
	5 思春期アドバイザー数	74人	279人	H14年度こころの健康センター

### ③家庭・学校・地域が連携して、思春期問題に対応できる。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
○	1 学校保健委員会を開催している学校の割合	小中高校 64.8%	100%	H13年度教育委員会
○	2 外部機関と連携した薬物乱用防止教育等を実施している中学校・高校の割合	中学校 50.0% 高 校 55.4%	増加	H13年度教育委員会
	3 地域教育コーディネーター数	55人	各中学校区に1人 [170人]	H14年度地域教育コーディネーター事業

○…国の健やか親子21 ●…ヘルシーピープルみえ・21 ●…三重のくにづくり宣言